

# ほほえみ

人らしく応援紙

第 108 号

2020 年 3 月 20 日



社会福祉法人優輝福祉会

〒729-4211

広島県三次市吉舎町吉舎 606 番地



誰もが輝くマチをつくりませんか？

## ◆新事業紹介

トマト幸場コーギーガーデン ..... 2

ゆうしゃいんCCM ..... 2

## ◆とまとかんしゃさい

『あかまるこりょうりコンテスト☆』 ..... 3

## ◆トピックス『光齢者志民会議～延長戦～』

通所介護事業所 美湯 ..... 4

みら屋・三良坂 ..... 5

ゆうしゃいん庄原 ..... 6

ケアハウス吉舎 ..... 6

◆認証と賞状 ..... 7

◆職員紹介と事業所自慢 ..... 8

## 新事業紹介

# とまと幸場 コージーガーデン (障害者多機能型事業所)

「いってらっしゃいませ」

広島県三次市大田幸町の山頂付近にありますのが、社会福祉法人優輝福祉会の事業所の1つコージーガーデンです。子どもや高齢者、障害者が関わりながら過ごす共生型として、通所介護、就労B型、生活介護、保育と様々な利用形態があります。今年度特筆すべきことは、改築のため休止していたレストランが再開し、三次市から運営を引き継いだ植物工場のトマト栽培もようやく収穫・販売が開始となりました。レストランご利用のお客様を「いってらっしゃいませ」と送り出し、トマトを店頭に並べる際も「おかえりなさい」の気持ちで、喜んでいただけるお客様の顔を思い浮かべ、いつでも笑顔でお迎えできるよう、心を込めて取り組んでいます。また、今年度から新たに理学療法士も入り、法人内の通所介護や小規模多機能型施設、リハビリテーション目的での自宅訪問など行っており、専門性を活かした支援も充実しています。



## ゆうしゃいん CCM 日中サービス支援型グループホーム

# 2020年春、新築オープン!

ゆうしゃいん CCM (ケアリング・コミュニティ・マネジメント) では日常生活の支援はもとより、生活相談、日中活動支援や就労支援等、その人らしい生活を実現するためのサポートを行います。また、施設と在宅の中間的な役割を果たすグループホームでの共同生活は、孤独感を軽減し支援員等による支援で身体・精神的な安定や社会的な自立に結びつくことが期待できます。



とまとかんしゃさい

## あかまるこりょうり コンテスト

2020年1月14日とまと収穫感謝祭が行われました。料理コンテストの応募ありがとうございました。心より感謝申し上げます。人気投票結果の一部をお知らせします。

第1位：あかまるこのミートソース



第2位：あかまること牛すじの煮込み



第3位：あかまるこのトマトソースパスタ



第4位：しろまるこ



その他、すべての料理に敬意を表します。今後、レストラン等でのメニュー開発の参考にさせていただきます。(コージーガーデンラパンレストラン一同)



200g×4 パックセット

3,500 円

※価格は、送料・消費税を含みます。

## えんちょうせん

高齢者は光齢者です。『金のために働かされる』必要はありません。社会のため、明日のため、持てる力や経験を活かし、楽しく働く、『光齢者志民で』ありたい。そんな方々による『死ぬときに後悔しない生き方』について語り合う会議風のトークショーを開催しました。当日語りつくせなかった思いを。延長戦としてここで繰り広げます。

### # 1 通所介護事業所美湯 吉川和利氏

私は大学教師を定年退職後、自宅のある庄原市美湯ハイツに戻って2年半ほどになり、みとう温泉デイサービスで機能回復訓練の手伝いをするようになって2年が経過した。デイサービスに携わるようになった契機の一つは、亡き父がユーシャインに足掛け2年ほどお世話になった経緯があり、そのご恩にわずかでも報いることができばとの考えによる。さらに私は学生時代の1970年代にはまだ珍しかったウェイトトレーニングを試みていたし、40数年の大学教師生活のかなりの部分は『体力づくり』を中心に置いた教育に携わって来たことも大きな要因に違いない。しかし最も大きい動機は退職後の時間的な余裕の使い方にほとんど困ったことである。余暇は日本ではイコール娯楽に捉えられがちであるが、餘(よ)暇(か)の文字に示されるように【餘】は経済的余裕を表し、【暇】は時間的余裕を表す。そして英語のLeisureは語源的にはギリシャ語のlicense(ライセンス、免許)にたどり着く。つまり本来のレジャーとは「自分の能力発達」と不可分である。言わずもがな、経済的余裕など、私にあるはずもない。『長生き時代を生きる』(落合恵子ほか、集英社、2014)で示される健康に過ごすための見解を縮めると、喜・動・楽となり、身体運動を健康増進の真ん中に置くことは重要であろう。運動指導に関わりながら昨年、久しぶりに会ったかつての仕事仲間、臨床心理の研究者から主観的幸福感が高齢者対象の教育への有効性をうかがっていた。すなわち運動への積極的な姿勢(Positive)と完遂(Accomplishment)への意欲、肯定的に楽しむ行動(Engaged)、謙虚に尊重し合おうとする人間関係の構築(Relation)、運動や訓練の意味の理解(Meaning)である。Seligman(2011)が指摘したPERMAなる基本理念は高齢者の運動処方でも有効な指針であると考えている。明確な資料があるわけではないが、私は機能訓練に携わりながら、年齢ものかは「意欲的積極的」に参加して下さる方ほど、病欠が少なく思っている。そうした方々は必ず運動に参加されるのが「楽しそう」である。さらに単独よりも二、三人で運動を実施する方がしっかりと実施され、皆さんで切磋琢磨する「協同効果」がうかがわれる。また、みなさんが私の申し上げる個々のトレーニングの意味に『新鮮さを持って受け取って』下さっており、何より有り難いのは完遂した時のみなさんの安堵の表情である。同時に私が脱線的に話す甲奴郡の歴史、あるいは天体や人類史、オリンピックの話などにも興味を持っていただいているし、私の掛け声一つをも「尊重」して下さっている。男の仕事と力むつもりはないが、仕事への責任感誰でも同じである。神谷美恵子氏の『生きがいについて』(みずす書房、2004)には以下のような記述がある。『人間が最も生きがいを感じるのは、自分がしたいと思うことと義務とが一致した時だと思われる』。ここで言われる義務とは役割に近く、有償か無償かを問わず、自分の意思を持ち、社会から求められる役割を果たすことが働く幸せに繋がるのだと、理解されている。ある女性利用者は『あなたが来られるようになって、わたしはここに来るのが楽しみになった』と仰って下さった。補助役にしか過ぎない私への期待や感謝をいただくのは光栄の砌(みぎり)であり、有形無形の薫陶を受けたことになる。その方はその後、間もなくご逝去になったが、『灯し火 滅せんとし 光増す』と言うような人生の節目に私は遭遇したと思っている。利用者からの同様な温かい言葉や表情、行動は大学教師時代よりもはるかに頻繁に受け取ることができるのは何よりの激励になる。介護現場には知識も経験値も高い専門家によって構築された手順があり、知恵がちりばめられている。あらゆる職場は快適であるべきで、快適=amenityはラテン語のamare、すなわちto love=愛することに由来する。多少の社会経験があったとしても一朝一夕には役に立つわけもない。陸上選手がラグビーの試合に出ても右往左往し、ミスを重ね、大ケガをしかねないことに似ている。私も齢七十の古希を過ぎた。孔子は心の欲するところに従いと言ひ、矩をこえずとも諭す。上善如水、毎日授かる『ありがとう』のお言葉は謙虚に生きよ、という教えであると思っている。

## #2 みら屋三良坂 看護師 福谷澄子氏

私は今日まで悔いのない楽しい人生を送っていると自負しております。私は1951年2月に君田町でこの世に生を受けました。山川、田畑の大自然の中で大きく育ちました。中学3年生の夏、クラブ活動の最中に体調不良になりまして、医療機関を受診しましたら虫垂炎の診断でした。手術で10日間入院しました。この時です、優しい看護師に出会い、憧れて『私も将来、看護師になろう！』と心の中で決めました。そして呉の地において看護師の資格を取得し、独身時代を嬉しく楽しく過ごしました。昭和44年に双三中央病院が新設し、両親から「求人募集しているから帰ってくるように」と言われ帰郷しました。そこで夫との出会いがあり、21歳で結婚し3人の小宝を授かりました。現在までに①医療現場25年 ②福祉現場20年 ③ネットワークビジネス約5、6年 ④自営業（スナック・カラオケ・ランチ・コーヒーカフェ）約5年などの仕事を経験し、人生で一度はやってみたい！体験してみたい！と思っていた通りの人生を送ることが出来ました。その時々協力や力を寄せていただいた方達に心より感謝しております。その中で、優輝福祉会との出会いですが、当時の総領町長の杉谷町長ご夫婦と私に接点があり、夫の職探しを町長さんに相談してお願いをしたら、熊原所長さんを紹介してくださり、早速ともいきの里に足を運びお初にお目にかかりました。その時、丁度若井常務も居られたと記憶しております。夫の仕事の話をしておりましたのに、夫より「あなたに来て欲しい！」と言われ、『えっ!!』と啞然としました。『どうしよう???私は今、一番楽しく過ごしているのに!』と思いましたが、結局、ともいきの里にお世話になり、就職致しました。それから5~6年経過した頃、突然血尿が出て、肉眼で見えるほど真っ赤でビックリ!!です。開業医を受診したら「福谷さん、すぐに中央病院に行きなさい。紹介状書きます」と言われ泌尿科へ行きました。「膀胱癌です」とはっきり言われて、精密検査をして「手術しましょう」と『私が癌?』思ってもみなかったです。頭をがーんと打たれた思いがしました。ショックもショック!大ショックです。『私はもう人生終わりか~~~~。家族や子どもはどうする?』めっちゃ落ち込みました。私の中では癌=死でした。色々精密検査をする内に1ヶ月くらい経った頃、Wパンチです!!今度は左乳癌が発覚!そしてステージⅢ。私は『転移だ』とすぐ考えましたが、主治医は「転移ではなく原発ですよ!」つまり別々だと言いました。考えると転移であれば、私は今、もうここに居ないと思います。別々だったからこそ、今こうして命があるのだと思っています。あれから2つの癌を持ちながら1年間休養いただき、職場に復帰した時、仕事を辞める思いでした。熊原理事長さんが「散歩のように出てきなさい」「この記事を読んでごらん」と言われ、新聞の記事を下さいました。この記事を読んで『同じ気持ちの人達がいる、この人達も頑張ってるんだ』と元気が出ました。熊原理事長さんがふたたび「福谷さん、あなたもこのように記事を書いて出してみたら?」と提案して下さいました。私の気が落ち込んだ様に同じ病で気が病んでおられる方があったなら少しでも元気になって頂きたいと思い、勇気を出して原稿を投稿してみました。何日か経ったある日、電話があって「あなたの原稿を採用することになりました」と新聞に掲載していただきました。知人友人から「見たよ!」「読んだよ!」としばらくの間声をかけていただきました。『あ~良かった~』と思いました。あれから10年、今現在、元気で楽しく仕事に、遊びに、家業のピオーネ作りに頑張っています。半年に1回定期的に精密検査も行っています。優輝福祉会はたくさんの事業所があり、事業所ごとにそれぞれ分野が異なります。私はともいきの里から歩み、ユーシャイン、庄原みとう温泉、横山旅館、ケアハウス吉舎、ゆうしゃいん三次、笑花、コージーガーデン、みら屋三良坂の8事業所で色々な体験や、また各職場の特殊性、人間関係等々を学びました。笑顔で接すること。相手に喜んで頂けるには何をどうすれば良いのか。相手の心を掴むこと。相手の心を元気にすること。どんなことでも話の中で否定しないで、相槌を打って聞くこと。優輝福祉会が私の人生の中で一番人間としてのあり方、価値観を学ぶ学舎だったと思います。最後になりますが、私は今年70歳を迎えました。3月末に退職をお願いして再度、自営業に挑戦しようと思います。娘が住居を新築致しましたので、その一角で「口福亭(こうふくてい)」と名づけて、和食を中心に小さなお店をしようと考えております。これは娘が「お母さん!そろそろ自分の時間を作って好きなことをしながら、孫の面倒でも家でみて、ボケ防止に頑張ってはどうか?」と提案したことがきっかけでした。自分のためか、ひとのためなのかはよく判りませんが(笑)。17年間お世話になりました。

1日1日を!その日を!その瞬間を!今を!大事に思うように生きる。

自分の人生の主役は自分です。

### #3 小規模ゆうしゃいん庄原 管理者 三村頼子氏

私の職場は小規模多機能型居宅介護事業所ゆうしゃいん庄原です。開所から7年6ヶ月です。現在22名の登録をいただいています。平均介護度は介護2.8です。【地域でねばる】を合言葉に1日でも長く住み慣れた自宅・地域での生活出来る事を支援していく気持ちで、通いサービス、訪問サービス、宿泊サービスを柔軟に組み合わせて利用者の状態にあった柔軟な対応を行っています。定員9名の泊まりですが、今、7名の利用者がほぼ連続で泊まられています。介護4や5の方です。当然、慢性疾患をお持ちで、受診・服薬管理を行っています。身体状況が心配な方が多いです。利用者の思いを汲み取り、利用者のご家族の関係をつなぐ役割を大切に、職員がご家族の信頼を得られるように気をつけていくことが私の仕事です。建物が4階建てで小規模の事業所は3階ですが同じフロアに障害者の方が泊まることが出来るグループホーム8室と福祉ホーム5室があり、4階にはユニバーサルホーム、賃貸の福祉住宅が7室有ります。同一敷地内にも、9室のユニバーサルリビング（これも福祉住宅となっています）地域の自宅での生活が難しい方がアパートに住み替えて、見守りと自分では難しい部分のみ職員がお手伝いする事で安心して暮らしておられます。職員は暮らしておられる利用者全員の見守りを行っています。特に夜間では職員一人で、急変時も判断して対応するという重責があります。一人ひとりが即座に考えて行動出来るように、普段から職員同士で情報交換やシミュレーションを行っています。誰かが、提案をしたことをすぐやってみて、またみんなで検討する。それぞれの意見を出し合い、職員同士がお互いに足りない所を補い合ってより良い介護にしようとする積極的な態度が素晴らしいと思っています。実の母を開所と同時に自分の働く事業所で、連続に泊まらせていただきました。利用するに当たっては本当に迷いました。そんな時、熊原理事長と若井常務が「そんなこと気にすることはない。新しい方法だしやってみたらいいじゃない」と軽い言葉で背中を押していただきました。母もずっと穏やかに笑顔で過ごせ「私は幸せね。ありがたい」といつも感謝の言葉を言っていました。何よりも、私自身が母と過ごせてありがたかったと思うと同時に一緒に仕事してくれた職員の皆さんに感謝しています。私はピンピン・ころりと逝きたいと思います。そのためには、普段の生活を見直して、できる範囲で、人のお手伝いができる状態を保ち、色々なことに感動し、感謝する心を持ち、機嫌良く微笑んで笑顔で生活したいです。今までに沢山の利用者をお見送りしてきました。事業所が在宅サービスなので往診をして下さるお医者さんもない為、どうしても病院にお連れしなくてはならない状況は辛いことでした。出来れば、私は自宅で、食べられなくなったらそのままゆっくりと、自然の風を感じたり、空を見たりして、ひっそりと旅立ちたい。出来れば、側に息子がいてくれたら、ありがたいなと思っています。

### #4 訪問介護看護事業所ゆうしゃいん 管理者 末重幸子氏

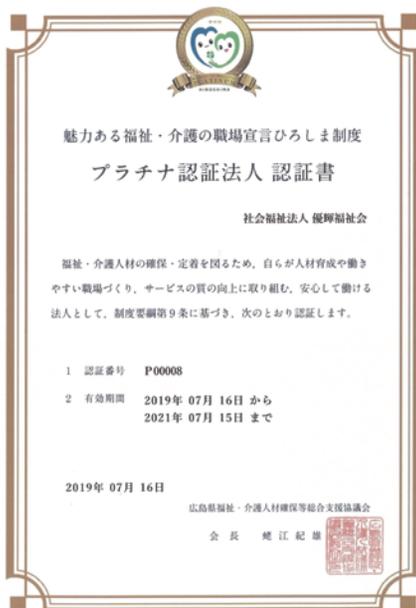
定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所ゆうしゃいんを開所して6年が経過します。当時の管理者が確保していた利用者登録を下回ってはいけないという思いがあります。お陰様で少しずつですが、医療機関、ケアマネジャーからの依頼を受けて利用が増えている状況です。新規利用の依頼を受けたら早急に足を運び、利用者、ご家族が安心していただけるサービスに繋げるように職員に日々アドバイスを行っています。職員の良いところはいくら遠方でも困っておられる現状を聞くとすぐ動くところだと思います。ご家族に寄り添い、いつも明るくコミュニケーションをとり、ご家族第一と考えていて関係作りをしています。訪問看護では医師との連携、ご家族とのチームワークが重要ですが、介護と看護の連携がとれていて、特に看護師が介護を行う事もありご家族の安心に繋がっていると思っています。そんな職員の姿を見ていて、私も自宅で終わりたいとの思いが強くなっています。私の夫は難病になり自宅で過ごしていたのですが、止む無く入院し、2日間の療養で亡くなりました。自らの手で建て、過ごした家で逝きたいと思っていたのでは…と年月を重ねるごとに思うようになりました。夫の思いを果たすためにも、私は生まれ育った地で、わが家でわがままいっぱい言って子どもや孫達に傍にいてもらい、季節や風を感じながら逝きたいと思っています。和田芳治さんに出会い、影響を受けました。年老いた年取ったと自ら認めない、思わないようにしています。いつまでも光齢者に、そして幸齢者でいたいと思っています。【喜怒哀楽】の言葉が好きです。喜んで、怒って、愛して、楽しんで、ぼちぼち歩いていこうと思っています。

## #5 和田和子さんより

光齢者志民会議の一員です。主人の和田芳治が高齢になっても輝いて生きようとした会で、主人の思い出があります。今、私は食が一番大切だと感じておりまして、季節の野菜や山菜・地元で獲れる鮎などを使ったお料理とそれから行事食を中心とした料理を若い皆さんに食べていただいて後世に繋いでいけたらな…と思っています。

主人は2019年3月に亡くなりましたけれど、今の時代、自宅で逝けることはなかなか難しく、多くの方が病院で亡くなりますが、優輝福祉会の皆さんのおかげで、自宅で穏やかに逝きました。毎日来てくださる訪問介護看護で、最期までとても穏やかに過ごせ、主人も私もとても幸せです。こんな幸せを多くのかたに分けてあげて下さい。ありがとうございました。

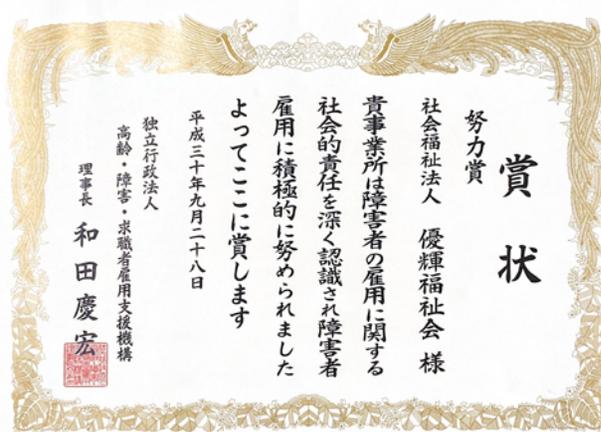
## 認証と賞状



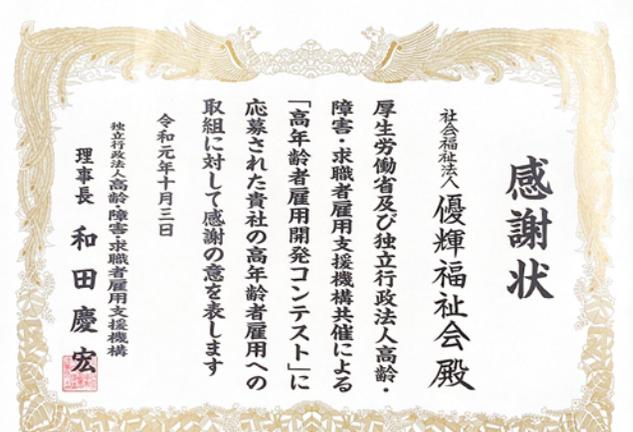
魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま制度  
プラチナ認証法人



広島県働き方改革実践企業



障害者雇用に関する努力賞



高齢者雇用開発コンテスト

# 令和元年度採用者の紹介と事業所自慢



五嶋 綾香 (理学療法士, ケアハウス吉舎)

(自己PR)

2019年4月入職の理学療法士です。毎日子育てに奮闘中の二児の母です。利用者様の笑顔を励みに頑張ります。よろしくお願いします。

(事業所自慢)

アットホームでゆったりしている所です。喫茶からの眺めもお勧めです。

平尾 亜依 (介護職員, ユーシャイン)



(自己PR)

私の取柄は声が大きく、元気で明るいことです。お年寄りの方が好き、お年寄りの方と話をすることが好きなので、福祉の仕事は初めてですが、楽しく過ごさせてもらっています。

(事業所自慢)

ユーシャイン総領では、昔、家や仕事で農業を行っていた方々が多くおられます。その経験を活かし、今年初めてのハブ草茶の栽培に挑戦しました。うまく育つのか心配でしたが、利用者様からのアドバイスをいただきながら立派なハブ草茶が育ちました。そのハブ草茶を利用者様みんなで手もみをし、ハブ草茶が完成しました。香りも良くとても良いものができ、みんなで美味しくいただきました。「やってみよう」など意欲的な利用者様が多いので、今後も工作や作物を育てる、ちょっとしたクッキングなど、行事を計画していきたいと思います。利用者様に楽しく過ごしてもらうには、「職員同士が仲良くすることが一番」これをモットーに利用者様と職員同士仲良く和気あいあい楽しく過ごしています。

湯川 亜衣子 (職業指導員, 里山福業)



(自己PR)

11月11日より里山福業に勤務しております、湯川亜衣子です。温泉旅行と山登りと猫が好きです。これまでに高齢者施設、障害者施設での勤務経験があります。福祉の仕事は大変な面も多いですが、それ以上に日々学ぶことが多く、経験を積み重ねただけ、自分を成長させてくれる仕事だと思っています。優輝福祉会に勤務を始めてから、職員の方々がとても生き生きとしているという事と職員同士のコミュニケーションがとてもよく取れていると感じました。これから私もコミュニケーションを大切にしながら、何事にも前向きな気持ちを持って仕事に取り組めるよう、心掛けていきたいと思っています。

(事業所自慢)

里山福業は、とても広々とした空間で仕事をする事ができます。社員さんの年齢は幅広いですが、声を掛け合ったりしながら、和やかな雰囲気です。社員さんからは、「みんな良い人」という言葉が聞かれます。これからも事業所の良い所を作っていけるように努めていきたいと思っています。



## 橋本 結 (管理栄養士, ともいきの里)

### (自己PR)

福祉系の就職セミナーでこの法人を知ったことがきっかけとなり入職の運びとなりました。現在は障害者支援施設ともいきの里で働いています。施設を利用される方は、障害の種類やその程度が様々であるため、柔軟な支援が求められる現場だと感じています。その中で、管理栄養士は単に食事を提供するだけではなく、いかに「その人らしく生きていける」かを支援していくことが大切だと思っています。4月の始業から現在までで、利用者の方の顔や名前、食形態、食具、嗜好などを覚えてきました。それを活かして、通常献立の調理とともに、個別の対応を行っています。中には複雑なものもあり苦労しますが、そこにやりがいを感じています。

### (事業所自慢)

施設の自慢は職員給食が提供されていることです。調理員の立場としては嬉しいことは多くの職員から料理に関する感想を直接聞くことができるということです。様々な意見があるため、とても参考になり助かっています。



## 菅 美冴 (社会福祉士, ともいきの里)

### (自己PR)

会話をうまくできない自分に引け目を感じていたが、ともいきに来て利用者の皆さんや職員と毎日会話を交わす中で、ありのままでもいいと思えるようになってきた。最近のブームは仕事で使う私物に自分の好きな物を取り入れ、楽しく仕事ができるようにすること。

### (事業所自慢)

ともいきの里で働く中で、先輩職員達が利用者のことを「利用者」としてではなく、「1人の人」として接している姿が印象的だった。福祉の現場で働くうえで当たり前のことではあるが、利用者という一括りの存在ではなく、個人の尊重を当たり前に行えることが、その人のより良い暮らしになるためのサービスを提供することに繋がっていると感じた。そして、上記の様な気付きや利用者との関わりの中で、障害者福祉の仕事の楽しさや利用者と向き合う上で大切なことを日々学べるため、ともいきの里で仕事ができてよかったと感じているし、様々な人にともいきの里を知ってほしいと思う。



## 井川 祐美 (理学療法士, コージーガーデン)

今年度からコージーガーデンで勤務しております理学療法士の井川です。

コージーガーデンは、子どもや高齢者、障がい者が互いに関わりながら過ごす温かい雰囲気、利用者様は何らかの困難な部分があっても、いつも楽しみを見出しながらハツラツと生活されている姿が素晴らしいと感じています。また、レストランのパンや食事、三次市から運営を引き継いだトマト栽培も、喜んでいただけるお客様の顔を思い浮かべながら、スタッフが心を込めて取り組んでいます。とてもおいしいのでぜひ皆さんにも食べていただきたいです。現在、私は法人内の通所介護や小規模多機能型施設、リハビリテーション目的での自宅訪問など行っており、専門性も活かしながら支援をさせていただいています。利用者様やご家族の喜ばれる姿に仕事のやりがい

感じ、日々の活力となっています。これからも、利用者様がより良い生活が出来ることを一番に、笑顔で過ごしていきたいと思えます。

## 稲垣 吏乃 (介護福祉士, ゆうしゃいん庄原特養)



(自己PR)

私は誰に対しても積極的に関わりを持とうとする性格です。初対面の人が相手でも、人見知りせず一気に距離を縮められます。実際、学生の頃に自分から話しかけて友達の輪を広げていきました。学校内だけでなく、県内・外にも多くの幅広い世代の友達ができました。誰に対してもフレンドリーに接することができることは、私の大きな強みだと思います。また、好奇心旺盛で新しいことにどんどん挑戦していくタイプです。SNSの活用、本・雑誌などを読み、最新の情報を得て自分に合うと思ったものを積極的に取り入れています。さまざまな物事に感心・理解があるのでコミュニケーションの種を探すのに困ることが少ないです。

(事業所自慢)

私の事業所は、職員と利用者さんの距離がとても近く、とても明るいことが自慢です。利用者さん一人ひとりとコミュニケーションを取り、要望を聞きながら、寄り添い支援しています。入浴なども本人さんのペースに合わせて支援を行っています。一緒にテレビを見たり、塗り絵などのレクリエーションをしたりしています。冗談を言って笑い合い、とても和気あいあいとしてアットホームな場所です。

## 松原 笑里 (管理栄養士, ゆうしゃいん庄原)

(自己PR)

年齢 23 歳 誕生日 10 月 6 日 出身地 広島県廿日市市

好きな食べ物 プリン, お寿司

私は、相当なことが無い限り怒ることが無いため、たいてい毎日笑顔でいる。

ほとんど常に笑顔でいるため、周りにいる人もつられて笑顔になると思います。



(事業所自慢)

この事業所の自慢は、優しく頼りになる職員が多くいることだと思います。調理員として入職して約8カ月、ご飯を作るのはもちろんのこと、発注等の事務作業、三次での栄養教室、手作りおやつを提供など様々なことをさせていただきました。その反面、至らない点や失敗をして迷惑をかけてしまうことが多くありましたが、「〇〇ですれば大丈夫よ」「〇〇やっておいたよ」などすぐに助けてくださいました。だから、他の人のミスもカバーしてくれる優しく頼りになる職員が事業所の自慢だと思います。

## 伊藤 翔平 (柔道整復師, みとう温泉デイサービス)



(自己PR)

今年の4月に入職したみとうデイサービスの伊藤翔平です。介護職と機能訓練指導員の兼務で働いています。以前は広島の整骨院に勤務しており、福祉の仕事は未経験です。スローテンポな方なので何かと迷惑をかけることもあるかもしれませんが、一生懸命に頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

(事業所自慢)

みとう温泉では、高齢者の利用者だけでなく、障害のある方・子供も同じ施設で利用できます。色々な方と関わりながら仕事ができる事業所です。

## 大塚 裕二 (職業指導員, みとう温泉みず幸場)



(自己PR)

初めまして。6月からみず幸場で職業指導員をしています大塚裕二です。田舎暮らしがしてみたくて、東京に家族を残し、初めての一人暮らしを体験中です。みず幸場ではいくつかの事業を行っています。天然水の製造では、夏場汗だくになりながら、米や生姜の栽培では、暑さや雑草と戦いながら、また、剪定や草刈り、掃除といった施設整備なども就労社員さんたちを見守りながら、一緒に汗を流しています。剪定・草刈り等で皆さんの施設にお伺いしますので、気軽に声をかけて下さい。よろしくお願いします。

(事業所自慢)

みず幸場では、美湯の天然水製造、米や生姜・野菜作り、草刈り剪定、生活利用品作り、施設の掃除、シーツ交換等々、多種にわたっています。それぞれの分野で社員さんが、自信を持って仕事ができるよう支援しています。

## 上川 陽一 (介護職員, ユーシャイン)

(自己PR)

長らく広島市内で接客・サービス業に従事していましたが、昨年地元へUターンしてまいりました。介護職は全くの未経験ですが、接客・サービス業での経験を活かし、楽しい！笑顔をお届けできるよう頑張ります。

(事業所自慢)

未経験の私にも解るよう親切丁寧に指導して頂き、また仕事を任せてもらう機会も多く、とても楽しく仕事できています。利用者様との距離も近く、一緒に何気ない話題で笑い合える場所だと、日々働きながら感じています。



## 樫 佳代 (生活支援員, ともいきの里)

(自己PR)

私は誰とでも人見知りせず接することができます。また、笑顔を忘れずに日々生活しています。福祉の仕事は初めてですが、何事にも前向きに精一杯頑張っていきたいと思います。

(事業所自慢)

ともいきの里は、職員、利用者の方がとても明るく過ごされています。豊かな環境で空気がきれいなのでのびのびとした生活ができます。もっといろんな人にともいきの里の事を知って頂けたらいいなと思います。



## 森近 聡史 (生活支援員, ともいきの里)



(自己PR)

学生時代は実家を出て柔道に精を出し、社会人では福祉の世界にやりがいを感じて働いていました。今年度、庄原の実家に戻り、庄原の柔道道場で子供たちと楽しく柔道をしております。どうぞ、よろしくお願い致します。

(事業所自慢)

ともいきの里では過去の失敗を元に作成された『こうしょうルール』を入社初日に研修を行い、同じ失敗が繰り返さないよう細心の注意がされています。運転業務に入る前は教習所さながらの運転指導があるなど細かな指導がされています。

## 篠原 稚恵 (介護職員, ゆうしゃいん庄原)

(自己PR)

今年度よりゆうしゃいん庄原に配属になりました篠原です。前職は臨床心理士や小学校の特別支援学級指導員などをしておりました。介護は未経験なため色々ご迷惑をおかけするかと思いますが、よろしくお願いいたします。

(事業所自慢)

利用者様一人ひとりに合せたサービスを常に職員全員で考え、話し合っております。また、いつもみんなの笑顔が絶えないアットホームで明るい事業所です。



## 足立 牧代 (介護職員, ゆうしゃいん庄原)



(自己PR)

昨年の7月より、ゆうしゃいん庄原小規模に配属になりました福山出身の高齢者施設は初心者の者です。子どもの頃より、声が大きい・明るい・元気だけが取柄です。冬場でも半袖Tシャツの大きなおばさんをもし見かけられましたら、それが私です。ありのままです。ちっとも寒くないです。どうぞ、よろしくお願い致します。

(事業所自慢)

とにかく、笑わない日がない。毎日、笑いの生まれる所です。それが小規模です！人生で初めての介護の現場で、いたらない私をあたたかく、大きな心で見守って受け入れて下さった管理者をはじめ諸先輩方、そして、人生の大先輩である利用者様が自慢です。

## 大鳥 絵里花 (看護職員, ゆうしゃいん三次)



(自己PR)

私の名前は大鳥絵里花です。趣味は神楽鑑賞で、好きな演目は『名神山』です。糸井町の照善坊で起きた夫婦愛の物語です。9月からゆうしゃいん三次で看護師としてお世話になり、気付けば半年が経とうとしています。これからもより良い看介護が提供できるよう、今までの知識も活かしつつ、新しいことをどんどん吸収していこうと考えています。これからもよろしくお願いします。

(事業所自慢)

ゆうしゃいん三次は職員同士がとても仲が良く、笑顔の絶えない明るい場所です。こんなに働きやすい職場は初めてです。職員同士が頼り頼られ、支え支えられ、とてもいい関係が出来ています。

## 秋山 征治 (職業指導員, ゆうしゃいん三次)

(自己PR)

YCCに配属になりました秋山征治と申します。入社して数か月经ちましたが、勉強不足を実感しています。文章力も身に付けて行きたいと思いますので、今後ご指導よろしくをお願いします。

(事業所自慢)

YCCでは、車検・修理・新車中古車販売・タイヤ保管の他、時間内にオイル・タイヤ交換等を行っています。知識の多い方ばかりで自分のスキルをさらに磨きをかけて向上させたいです。



## 松村 圭一郎 (職業指導員, コージーガーデン)



(自己PR)

コージーガーデンの松村です。この業界には興味はありませんでしたが、縁あって昨年の夏からこちらでお世話になっています。今は植物幸場でトマトの栽培をやっています。

(事業所自慢)

植物幸場では昨年の9月に植え付けをし、12月から収穫できるようになり、1月からは出荷しています。苗の世話は大変なこともあります。緑に触れながらの作業は心癒され、思わず没頭してしまうこともあります。赤くて美味しいトマトが収穫できていますので、一度食べてみてください。

## 吉国 広美 (相談支援専門員, ゆうき相談所)



(自己PR)

昨年6月に採用になりました。四世代の家族の中で三人の息子を育てていると、いつの間にか歳を重ねてしまい、実際働いた経験は少なく、まだまだ新米の私です。ベテランの先輩方に教えてもらい日々新たな発見があるので楽しいです。

(事業所自慢)

私の仕事は障害福祉サービスの相談支援専門員です。優輝福祉会には三次市に『ゆうしゃいん相談所 (ゆうしゃいん三次内)』、庄原市に『ゆうき相談所 (ともいきの里内)』があります。地域移行支援の実績があり、県下でも先駆的な取り組みで素晴らしいと思います。

## 真田 昌子 (看護師, 定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所)

(自己PR)

私は、令和元年10月より定期巡回随時対応型訪問介護看護事業所に勤務しています。訪問看護の仕事は初めてですが、常に利用者様やその家族様の気持ちに寄り添いながら、看護していきたいと思っています。

(事業所自慢)

性別や年齢、経験数などもバラバラですが、アットホームな雰囲気、とても仕事がしやすいです。報告・連絡・相談をしやすい環境を作ってくださいるので、悩みや不明な事の言いやすい環境にあります。



## 月橋 由理 (介護職員, 藤原別荘)



(自己PR)

田舎暮らしと町おこしに興味を持ち、三年前に広島市から三次市に移住。天然素材を使った雑貨や作品を制作したり、町おこしの活動として郷土人形や郷土玩具を収集し文化の伝承を行い、展覧会の開催や展示会に出展。

(事業所自慢)

第39代アメリカ合衆国の大統領ジミー・カーター氏が訪問された里山甲奴にある別荘のたたずまいをそのまま残し、庭園もあり季節感を感じることができる家庭的な温もりのある小規模多機能型居宅介護事業所です。

I J U (いじゅう) 支援プロジェクト

ター  
ター  
ター

IPPO

大丈夫。広島の田舎に引っ越す一歩、サポートします。

IU (いじゅう) って少しハードル高くない? と思い、一歩が踏み出せない、そんなあなた。そこで、Youshineがあなたの一歩をサポートします。

こんなサポートあるの。

住まい探しや  
社宅の提供  
暮らしのIPPO

遊びの提案  
健康と楽しみのIPPO

福祉・看護の資格取得を  
応援サポート  
学びのIPPO

家具・家電探しの  
IPPO  
(フリマ247)

記念日や家族を大事にする  
IPPO

働く場の確保  
役立ち感のIPPO  
(介護・農業等)

Youshine IPPO (社会福祉法人 優輝福祉会)  
729-4211 広島県三次市吉舎町吉舎606  
youshine@yuukifukushikai.com T. 0824-43-3121 Kumahara

# 求む。人間大好き。世話好き。料理好き。

ゆうしゃいん優輝福祉会では、さまざまな分野に関わることができるのが魅力です。

高齢者・障害者・子どもと一緒に色々な発見をすることが日々の楽しみです。

福祉の世界で働きながら、元気なマチ(地域)づくりを一緒にしませんか?



## 里山移住。Iターン、Uターン大歓迎!

ブランクの  
ある方OK

パート希望  
OK

未経験  
無資格OK

子ども連れ  
OK

高齢者  
障害者OK

どんな人でも、どんな仕事でも、楽しく働けるようサポートしています!

### 育児との両立がしやすい環境

- ・最長3年間の育児休業を取得可能
- ・小規模共生型保育園を設置
- ・男性職員の育児休暇を推進



### 「メモリアル休暇」等の取得推進

年間5日以上、自分や家族の記念日  
(誕生日や結婚記念日など何でも  
OK) を休暇として取得できます。



### あなたのやりたいことを応援

誰でも、自分のやりたいことを提案できる  
環境です。実際に現場の声が採用さ  
れた企画や事業もたくさんあります。



## 「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま」制度の プラチナ認証を取得しました。

「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま」とは、働きやすい職場づくりとサービスの向上に取り組んでいる優良法人を認証する制度です。その中で、広島県の福祉・介護業界のトップランナーに与えられるのが「プラチナ認証」です。

「プラチナ認証」は、離職率が業界全体平均より約3%低く(13.2%以下)、働き方改革や地域と連携した活動・行事等に取り組んでいる法人に与えられます。現在、県内に1,600ある法人のうち、13法人にのみ与えられています。

### 働きやすい職場を目指して

- 平成24年……「くるみんマーク認定事業主」として「子育てサポート企業」となる
- 平成26年度…「仕事と家庭の両立支援企業」認定
- 平成29年度…「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま事業所」認定
- 平成30年度…「障害者雇用優良事業所」表彰  
「働き方改革実践企業」認定





優輝福祉会  
WELLBEING FACILITIES YUUKI FUKUSHI KAI



発行所：社会福祉法人 優輝福祉会  
〒729-4211 広島県三次市吉舎町吉舎 606 番地

**tel. 0824-43-3121**

mail. [youshine@yuukifukushikai.com](mailto:youshine@yuukifukushikai.com)

<http://www.yuukifukushikai.com>

「ほほえみパーク」は、障害者多機能事業所  
みとう温泉の「優輝デザイン」において、  
障害を持った社員とともに制作した、優輝福祉会の広報誌です。

